

（ 第三回「奈良まちおこし結び会」が開催 ）

平成19年12月8日、9日第三回「奈良まちおこし結び会」(主催：同実行委員会・平城遷都1300年記念事業協会)が、奈良県下でまちおこしをしている46団体と42の企業・グループの参加を得て、桜井市三輪の大神神社駐車場特設会場で開催された。

平城遷都1300年記念事業に向けて文化制作ボランティアを育成する県の「奈良2010年塾」のOB達が企画・運営し、前回から一般市民も参加できる形にした。

会場では、観る、味わう、学ぶ、得する体験ができ、2日間で家族連れなど約12,000人が訪れた。

観る：奈良のバサラ奉納演舞、桜井の和太鼓「大美和」、十津川村の「揺れ太鼓」などがステージで競演し、獅子舞がお神楽にあわせて場内を練り歩いた。

味わう：奈良県が誇る地域の味覚として、あゆの塩焼き、猪肉、鹿肉、とちもち、よもぎもち、地酒、三輪そうめんなどが出品された。

学ぶ：まちおこし団体の各ブースでは、地域の催し物、観光情報などの紹介がされており、今後行ってみたい観光地やイベントを選ぶ上で参考としていた。

平成20年1月13日の「奈良まほろばソムリエ検定」の参考に、『奈良県縦断ウルトラ検定クイズ』も実施された。

得する：前回大人気の十津川温泉かけ流しの「足も心も暖まる足湯」を当地に再現。源湯が十津川村からタンク車で運ばれた。柿の葉寿司、サンマ寿司、猪汁など各地の特産品の販売も行われた。

また、3月22日(土)、各団体が集まり「結び会フォーラム」を奈良県文化会館で開催する予定である。

今後は、奈良のことを他地域の人々にアピール

しようと「奈良まちおこし結び会」を大阪、東京でも開催することを検討している。(上田)



賑わう「奈良まちおこし結び会」会場



桜井の和太鼓「大美和」



十津川温泉源湯の足湯

写真：奈良まちおこし結び会実行委員会(上・中)、当センター(下)

これからの主な催し

〔主な行事〕

● 2月3日(日) 9時～16時

安倍文殊院 節分銭ぶつけ厄払い法要

場所：安倍文殊院金閣浮御堂

節分銭ぶつけ厄払い法要は、節分の日に限り堂内に祀られている秘仏の軸(方位守護の神さま十二天軸)のうち、今年の恵方(幸運をもたらす方位)の守護神お軸が御開帳され、その軸に向かって祈願者自身の年齢の数だけ

銭(お金)をぶつけて、お金より大切な命をお守り下さいと、今年の厄払いを祈願する古来より伝わる行法。

JR 桜井線・近鉄大阪線 桜井駅下車
徒歩25分

問い合わせ先：安倍文殊院

TEL：0744-43-0002